

関西大学経済・政治研究所 第236回産業セミナー

聴講無料
事前申込不要

【開講の挨拶】

新自由主義の潮流の中で、政府が社会課題の解決に直接的に関与する「公助」の役割は、縮小を余儀なくされている。代わって、当事者の自己責任による解決である「自助」、または NPO・市民活動などの民間主体による自発的な社会活動による解決である「共助」への期待は高まっている。どのような社会課題を、どの程度、自助・共助に任せるか、どこからが公助の対象になるのか。この線引きこそが、現代政治のあり方を決定的に左右する。しかし、線引きに確たる答えはない。人々の意識の中で、その境界線はつねに揺らいでいる。

本セミナーでは、自助・共助・公助をめぐる日本人の意識と行動を政治学の観点から実証的に検討する。第一報告では、日本人を対象とした意識調査のデータを用いて、自助・共助・公助の現状と課題を浮き彫りにする。第二報告では、近代日本の洪水対策の歴史を素材にして、自助・共助・公助領域の認識がどう変遷していったのか、について歴史的 analysis を行う。

＜自助・共助研究班 主幹 坂本 治也＞

日時：2019年10月10日(木)13:00～16:10

会場：関西大学 梅田キャンパス

8階大ホール“KANDAI Me RISE ホール”

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号 TEL: 06-4256-6410

【テーマと報告者】

「日本人の自助・共助・公助意識の分析」

自助・共助研究班 主幹
関西大学 法学部教授

坂本 治也

「近代日本の洪水対策における『公助』と『共助』」

自助・共助研究班 研究員
関西大学 法学部准教授

若月 剛史

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員 200 名)
- ◆ 問い合わせ先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179 / FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主催 関西大学経済・政治研究所
後援 大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学

